



院長
永島 嘉嗣

新院長のあいさつ

「初心に返つて」

私が玄々堂君津病院に奉職してはや10年が過ぎようとしています。この間に病院の増床、健康保険の改訂等様々な変化がありました。そのたびに変化に対応すべく懸命に働いていた間にか現在に

「初心に返る」ことをあらためて

至っています。そしてこの度院長という要職を任される事になりました。幸いな事に当院は現在まで地域のみなさまに愛され支えられて、医療を取り巻く環境が厳しくなる中でも安定した活動を続けており、今後も一層の改革が求められます。しかしながら医療、とりわけ病院の医療といふものは変革を迫られており、今後も一層の努力が必要であるうと思います。当院は困難であろうと思います。当院のような中規模の病院であればこそできる医療というのがあるはずです。それは診療の質を保つ努力をして迅速な対応をするという事に

意識したいと思います。当院に就職するまでのいわゆる大病院を渡り歩いてきましたが、そのような病院にはそのような病院なりの苦勞があり、思うような医療を展開できることはありませんが、ごく小規模で、医療を取り巻く環境が厳しくなる中でも安定した活動を続けており、今後も一層の改革が求められます。しかしながら医療、とりわけ病院の医療といふものは変革を迫られており、今後も一層の努力が必要であるうと思います。当院は困難であろうと思います。当院

大規模地震防災訓練実施

9月7日、大規模地震による火災が発生したことを見定めた訓練が行われた。警戒宣言が発令され、担当部署の部課長が本部に集合した。今回は報告書を利用した事前対策訓練と緊密な連携が行われ、慌ただしく包丁を切ったままの状態で、各部門が協力して訓練が実施されました。

消防署による撤退訓練が実施されました。この間には、各部門が協力して訓練が実施されました。消防署による撤退訓練が実施されました。

今回、アボットジャパンの野崎良夫氏を講師に迎え



熱心に聞き入る参加者

新入職員3ヶ月研修

7月19日、坂田研修室にて新入職員3ヶ月オーバー研修が行われた。

17名を対象に、業務経験の中から生まれた疑問の解消を図り、今後

の方向性を明確化する目的で開催された。

山口事務部長

より「入社して3

日頃話すことが少ない同期の人

達との会話で緊張の中にも笑顔が見られ、自分たちで解決策を見いだす研修となつた。

永島新院長 玄々堂君津病院新体制に



会議室の方針が決定され、10月1日より、玄々堂君津病院の新院長に永島嘉嗣副院長が任命された。

永島新院長はこれまで当院の副院長としての職務に専念してきたが、医療を取り巻く厳しい医療情勢の中、今後は院長として、より一層の活躍に期待が寄せられている。

玄々堂君津病院の院長人事に伴い、10月1日より、坂田クリニックス院長に武部嗣郎前院長が就任された。

また、9月1日付で、玄々堂君津病院新事務長に大野八朗前事務長代理が任命された。

新しい体制での取り組みが少しずつ始まり、より一層の発展が期待される。

医療法人新都市医療研究会君津

玄々堂君津病院の院長人事に伴い、10月1日より、坂田クリニックス院長に武部嗣郎前院長が就任された。

10月1日より70歳以上の高齢者が医療機関窓口で支払う自己負担割合が改定された。現役並みの所得者(夫婦世帯で年収520万円以上、単身世帯で年収383万円以上)の自己負担割合が2割から3割に引き上げられ、現役並み所得者以外は1割のまま据え置かれた。

今まで通り継続される。尚、救急診療(時間外)においては

7月26日から8月10日まで、周南中・天羽中・周西中、君津高校の生徒計24名のインターネットの受け入れが行われた。インターネットは、様々な職場での体験を通して、将来的の職業について考え、社会人としてのマナーの育成を図り、自己の進路について主体性をもって検討する機会を設けた。

は、毎回講師として三木明子先生(筑波大学大学院看護科学系助教授)が医療職に対するリスクマネジメントと暴力への対応について講演を行っている。3回目の今回は「病院職員に対するリスクマネジメントと暴力への対応」というテーマで講演が行われた。

講演の中では、暴力に対する対応方法を指導したり、数名に分かれたりして暴力とはどのようなものがあるかをディスカッションしたりと、分かりやすい参加型の講演会となつた。

当日は、79名の参加者があり、関心の高さが伺われた。

7月26日から8月10日まで、周南中・天羽中・周西中、君津高校の生徒計24名のインターネットの受け入れが行われた。インターネットは、様々な職場での体験を通して、将来的の職業について考え、社会人としてのマナーの育成を

10年勤続者

一六・年勤続して今思ふこと

前回は永年勤続20年の方々に玄々堂君津病院に勤務して積み重ねてきた思いを伺いました。

今回は永年勤続10年の対象者に、10年勤務してきたことに対する思いを聞かせていただきましたので紹介します。

医療相談室 北尾 愛

10年表彰をいただきありがとうございます。職員の皆さまをはじめ、当院を利用されている患者さまとのご家族さま、また病院外の風を吹き込んださださっているボランティアさん達に支えて頂き、いろいろと教えて頂いた10年でした。

あつという間の10年で、「もう10年?」と感じています。

これからもまだ皆さまに教えて頂くことが沢山あると思いますが、社会の流れに遅れぬよう自己学習を積み頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

10年表彰 (五十音順)

生稻 美穂さん
石井 真紀さん
北尾 愛さん
高梨 征子さん
立川 尚子さん
平野 聖浩さん
藤谷 久美子さん
星野 房江さん
松本 美香さん
吉成由美子さん

2階病棟 藤谷 久美子 勤続10年を迎えて、「時間が経つのは本当に早いな」と改めて感じます。

高校を卒業後、看護学生として過ごした2年

間。午前中は病院で働き、午後から学校に行き、週

に一度帰ってきてから夜まで働くとい

う生活。忙しい毎日でしたか、同期の

間。午前中は病院で働き、午後から学校に行き、週

に一度帰ってきてから夜まで働くとい

う生活。忙しい毎日です。

復帰の際には、初心を忘れず、新たな

気持ちで頑張ろうと思います。これからもよろしくお願いします。

月の息子の世話を奮闘する毎日です。

午前中は病院で働き、午後から学校に行き、週

に一度帰ってきてから夜まで働くとい

う生活。忙しい毎日です。

午前中は病院で働き、午後から学校に行き、週

に一度帰ってきてから夜まで働くとい



図1 メタボリック・ドミノと動脈硬化

メタボリック シンドローム

最近、よく耳にするメタボリックシンドローム。みなさんはご存じですか。
荻野先生に、診断基準や治療方針を含め詳しく解説をお願いしました。



概念

心臓の冠動脈をはじめとする動脈硬化性疾患発症の危険因子として、耐糖能異常(境界型および糖尿病)、高脂血症(高コレステロール血症)、高トリグリセリド血症、高血圧、喫煙などが明らかにされています。これらの因子は各々独立した

危険因子ですが、同一個人が複数個の危険因子を持っていることが多く、この場合動脈硬化の発症リスクが著しく増大します。たとえば高

トリグリセリド血症、耐糖能異常、

高血圧、肥満が合併すると、30倍

以上動脈硬化の危険が高くなるこ

ともわが国の検討で示されています。内臓脂肪蓄積を主因として、こ

のようなりスク集積状態をひとつの

病態としてとらえようと思われる

ようになつたのがメタボリックシ

ンドロームです。

図1はメタボリック・ドミノと動脈硬化を示したもので、生活習慣病を発症しやすい体质因に、過食、運動不足が加わると、肥満、インスリン抵抗性が起ります。そのまま生活習慣度の増加(食事量を減らし、運動量を増やし体重を落とす)。高血圧にそして最終的に動脈硬化や糖尿病に関連する疾患を発症します。これがドミノ現象に例えられています。

図1はメタボリック・ドミノと動脈硬化を示したもので、生活習慣病を発症しやすい体质因に、過食、運動不足が加わると、肥満、インスリン抵抗性が起ります。そのまま生活習慣度の増加(食事量を減らし、運動量を増やし体重を落とす)。高血圧にそして最終的に動脈硬化や糖尿病に関連する疾患を発症します。これがドミノ現象に例えられています。

症では、食物繊維の推奨コレステロールを含む食事の制限も必要です。

インスリン抵抗性がメタボリック

シンドロームの原因とまで考えられ

ています。アブリジン誘導体がこれにあ

ります。フィブロートはトリグ

リセリドの低下とHDLコレステロ

ールの増加をもたらします。高コレ

ステロールにはスタチンなどが使

され、心血管リスクの改善が示さ

れます。高血圧には病態に悪影響

をもたらす薬剤もあり推奨選択薬

を使用するのが望ましいでしょう。

1. 心電図および負荷心電図

安静・運動後の心電図を比較し

冠動脈の狭窄を確認します。

2. 頸動脈エコー

ある一定部位の内中膜複合体

(IMT)を測定し動脈硬化および

血栓を観察します。

3. 脈波伝播速度(PWV)

血管の弾力性を利用して動脈硬

化を測定する。最も早期に動脈硬

化が判定できます。当院でも脈波

伝播速度(PWV)、頸動脈エコーを

測定しています。

a. ライフスタイル改善

過剩栄養摂取の制限と身体活動

度の増加(食事量を減らし、運動量

を増やし体重を落とす)。高血圧に

は食塩制限やカリウムに富む野菜の

摂取、高トリグリセリド血症にはア

ルコール、油料理、甘味物、炭水化

物、果物の制限、高コレステロール血

糖

糖尿病

は現在熱い議論が交わされています。日本の診断基準は国際的、アジア的にも相違があります。しかし、現代急増する過食、運動不足による動脈硬化を予防するための第1歩と考えていきましょう。

外見では肥満していることがわから

ません。

3 A 病棟看護師長 森 栄子

糖尿病は高血圧について多い生活

習慣病で、豊かな食生活や車社会

による肥満、運動不足などが原因

となり引き起こす疾患です。糖尿

病は慢性疾患で、診断が下れば一

生涯付き合って行かなければならな

い病気です。境界型糖尿病の方や

糖尿病と診断された方は食事療

法、運動療法を柱に血糖コントロ

ルをして合併症を予防することが

最大のポイントになります。しかし

自覚症状がないため自己判断で、通

院を止めたり治療を中断して病気

を悪化させてしまう人も多くみら

れます。また隠れ肥満とも言われ

る「内臓脂肪型肥満」タイプの方は

治療法では病院食を食べながら食事の内容や量を覚えて頂き、管理栄養士が食事療法の大切さやバランスの摂れた食事はどういうものな

生活を聞きながらアドバイスをして

きます。運動療法は一人ひとりの食

生活等を患者さま一人ひとりの食

生活を聞きながらアドバイスをして

きます。運動療法は一人ひとりの食



小さい頃に少しピアノを習つていまして、大人になつてからまた始めようと思ひ、趣味でピアノを弾いてます。始めようと思つたきっかけがあり、友達が家で弾いてくれて、その曲が気に入つて自分も弾いてみたかったからです。久しぶりに弾いてみたら、手が動かなくて完全ダメでした。練習しても一向に上達しないし、時間もかかり、なかなか難しいものです。辞めたくなっています。

【経理課 川村 弘道】

「ブレイブ」

経理課
川村
弘道

当日まで何の計画も立てずに出発したハワイ旅行、飛行機の中であれやこれやと予定を立てござ現地無駄に過ごす事は許されません。いやがる主人をひきすり回、アラモアナショッピングセンターへ。

三日目はキラウエア火山へ、なんと神秘的な光景でしよう。自然の力の偉大さ、自分のちっぽけさを感じる一日でした。

最終日は東海岸方面のツアーリーに

ごほうびのハワイ

保育所 立川 尚子

3A 病棟 石井 真紀

勤続10年を迎える木村師長を団長に総勢9名(ちょっと少なめです)

が4泊6日のハワイ旅行へと行って参りました。

メンバーを見ていろいろな人達から4歳と6歳の子も登りました。(す

ドヘッド)へも登りました。もちろん

ピング、海水浴を楽しみました。

た。ダイヤモン

ルーズやショッピング、海水浴を楽しめました。

みんなでそろってBENIHANAでの夕食

みんなでそろってBENIHANAでの夕食